2017年３月期 第2四半期 決算説明会

11/2/2016

丸文株式会社

© 2016 MARUBUN CORPORATION

本日説明のポイント

2017年3月期　上期業績

売上高　1,277億円（前年同期比 13.6%減）

経常利益　△1.9億円（前年同期は14億円）

2017年3月期　通期業績見通し

売上高　2,700億円（前期比 3.4%減）

経常利益　20億円（前期比 39.8%減）

■業績修正(売上高△200億円、経常利益△12億円)の要因

- 売上高　TV向けLCDパネルの減少、新規ビジネスの立上げ遅れ
- 経常利益　売上減少、円高の影響

中期経営計画の進捗

デバイス事業

■自動車・産業機器向けビジネスが拡大

■新規ビジネスは遅れがあるが順調

システム事業

■ネットワーク機器で商材拡充が進展

© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年３月期 第2四半期 連結決算の概要

© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 上期 連結決算サマリ（前年同期比）

売上高　：　1,277億円（前年同期比 200億円減）

- デバイス事業　通信モジュール向け半導体、TV・PC向けLCDパネルの減少
  円高によるドル建取引の円貨換算額の減少
- システム事業　電子部品組立検査装置、組込用半導体レーザの増加

営業利益：　△4.3億円（前年同期比 18億円減）

- 売上総利益　売上の減少に伴う利益の減少
  円高によるドル建取引の円貨換算額の減少
  急激な進行で仕入・売上計上時にレート差が発生したことによる減少
- 販管費　退職給付費用の増加、連結子会社の増加

経常利益：　△1.9億円（前年同期比 16億円減）

- 為替差損益　差損0.5億円→差益1.2億円

当期純利益：△3.7億円（前年同期比 12億円減）

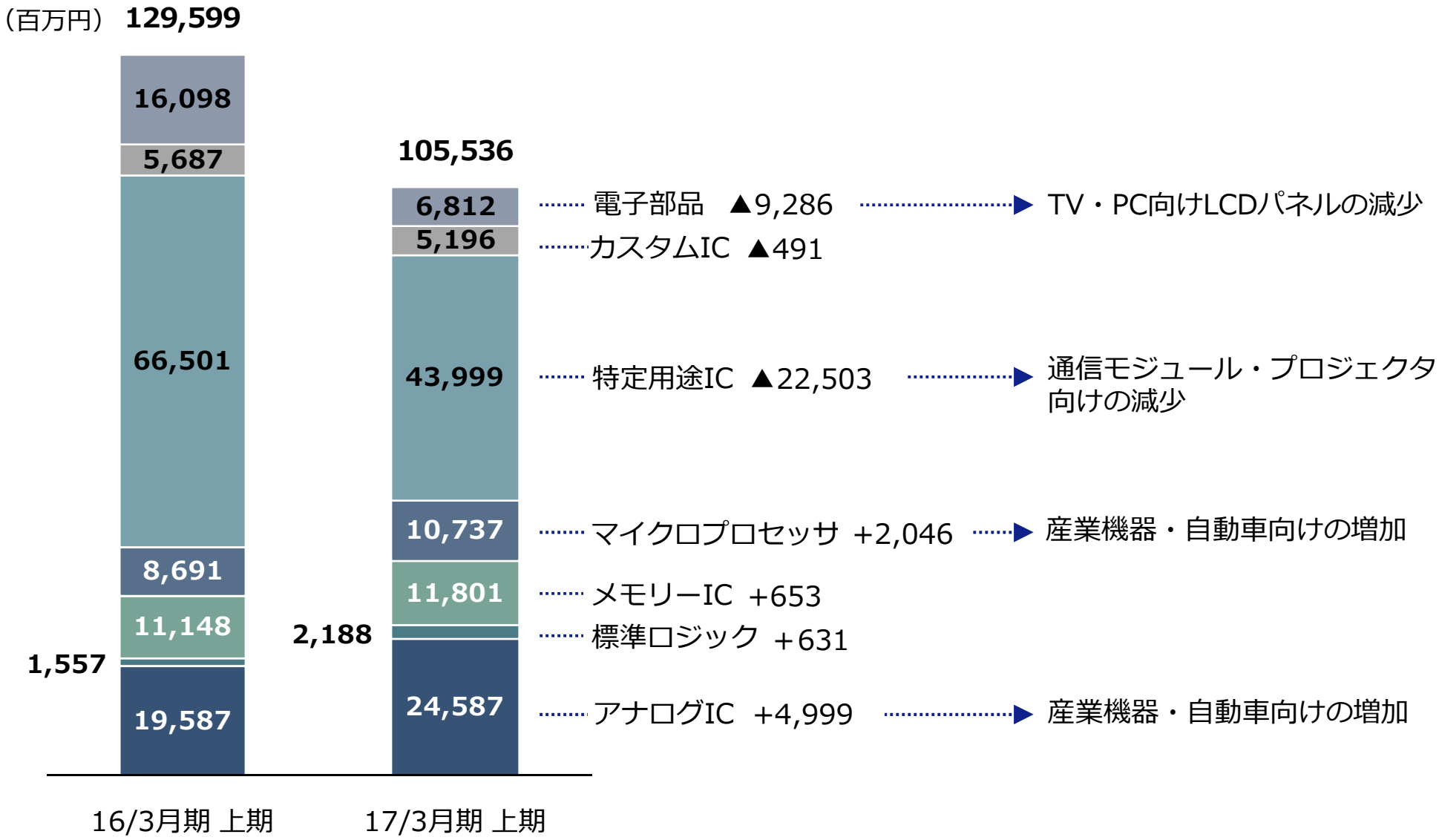
© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 上期 業績サマリ

(百万円)	16/3月期 上期		17/3月期 上期		前年同期比		17/3月期 期初予想	
	実 績	構成比	実 績	構成比	金 額	%	上期	構成比
売上高	**147,803**	**100.0%**	**127,741**	**100.0%**	**△ 20,062**	**-13.6%**	**125,000**	**100.0%**
デバイス事業	129,599	87.7%	105,536	82.6%	△ 24,063	-18.6%	104,000	83.2%
システム事業	18,203	12.3%	22,205	17.4%	4,002	22.0%	21,000	16.8%
売上総利益	**8,948**	**6.1%**	**8,333**	**6.5%**	**△ 615**	**-6.9%**	**9,200**	**7.4%**
販管費	7,533	5.1%	8,768	6.9%	1,235	16.4%	9,150	7.3%
人件費	4,615	3.1%	5,464	4.3%	849	18.4%	-	-
その他	2,917	2.0%	3,304	2.6%	387	13.3%	-	-
営業利益	**1,415**	**1.0%**	**△ 435**	**-0.3%**	**△ 1,850**	**-130.7%**	**50**	**0.0%**
営業外収益	374	0.3%	462	0.4%	88	23.5%	300	0.2%
営業外費用	297	0.2%	221	0.2%	△ 76	-25.6%	300	0.2%
経常利益	**1,492**	**1.0%**	**△ 194**	**-0.2%**	**△ 1,686**	**-113.0%**	**50**	**0.0%**
特別利益	693	0.5%	0	**0.0%**	**△ 693**	-100.0%	-	-
特別損失	755	0.5%	17	0.0%	△ 738	-97.7%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	827	**0.6%**	**△ 379**	**-0.3%**	**△ 1,206**	**-145.8%**	**△ 150**	**-0.1%**
期末従業員数（名）	1,282	-	1,438	-	156	12.2%	-	-

© 2016 MARUBUN CORPORATION

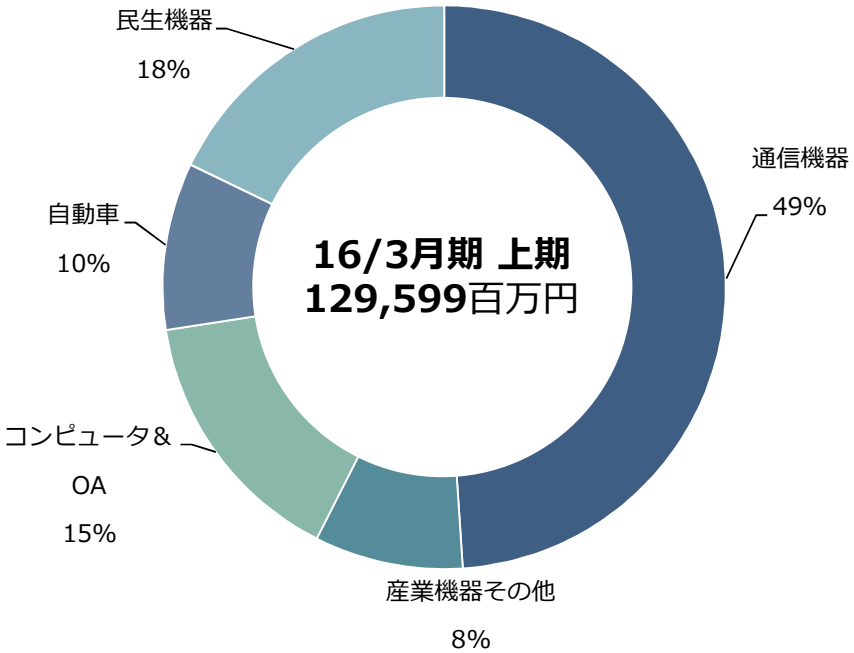
2017年3月期 上期 デバイス事業品目別売上高

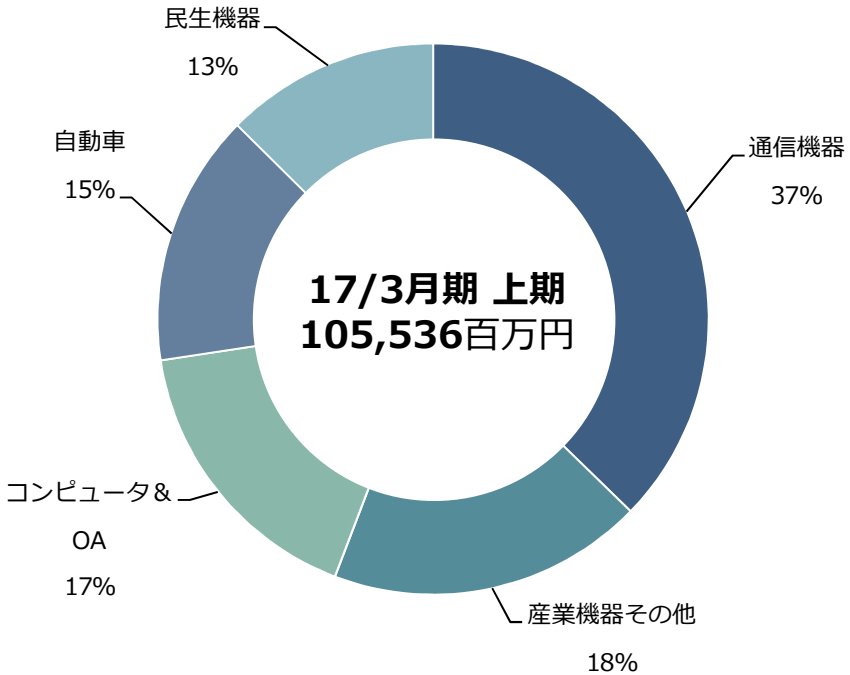


© 2016 MARUBUN CORPORATION

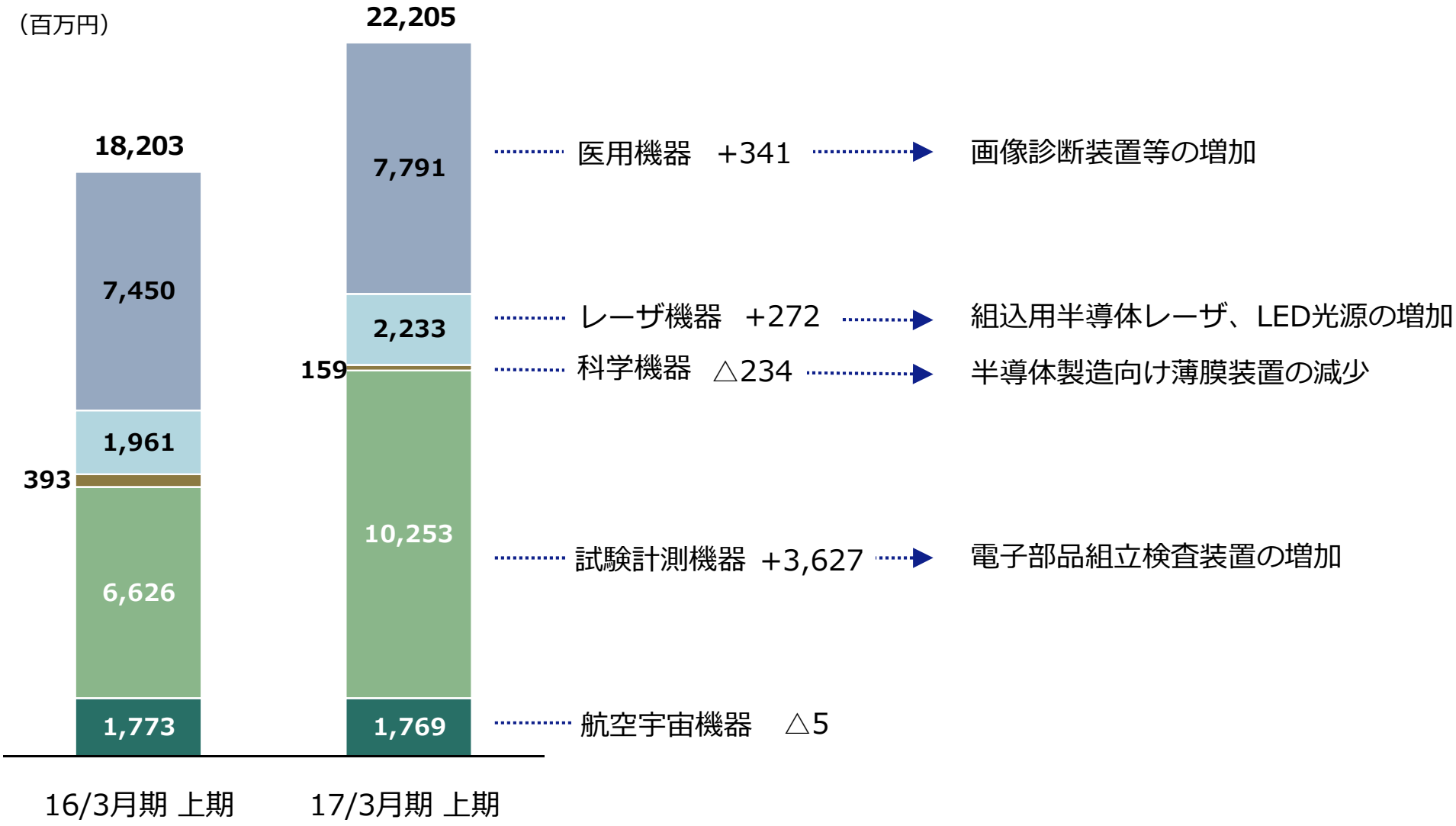
2017年3月期 上期 デバイス事業 用途別市場動向

用　　途	市　場　動　向
産業機器その他	FA機器向けが増加
自動車	ナビゲーション・車内通信・エンジンコントロール向けが増加
通信機器	通信モジュール向けが減少
コンピュータ&OA	PC向けが減少
民生機器	TV・ゲーム機向けが減少



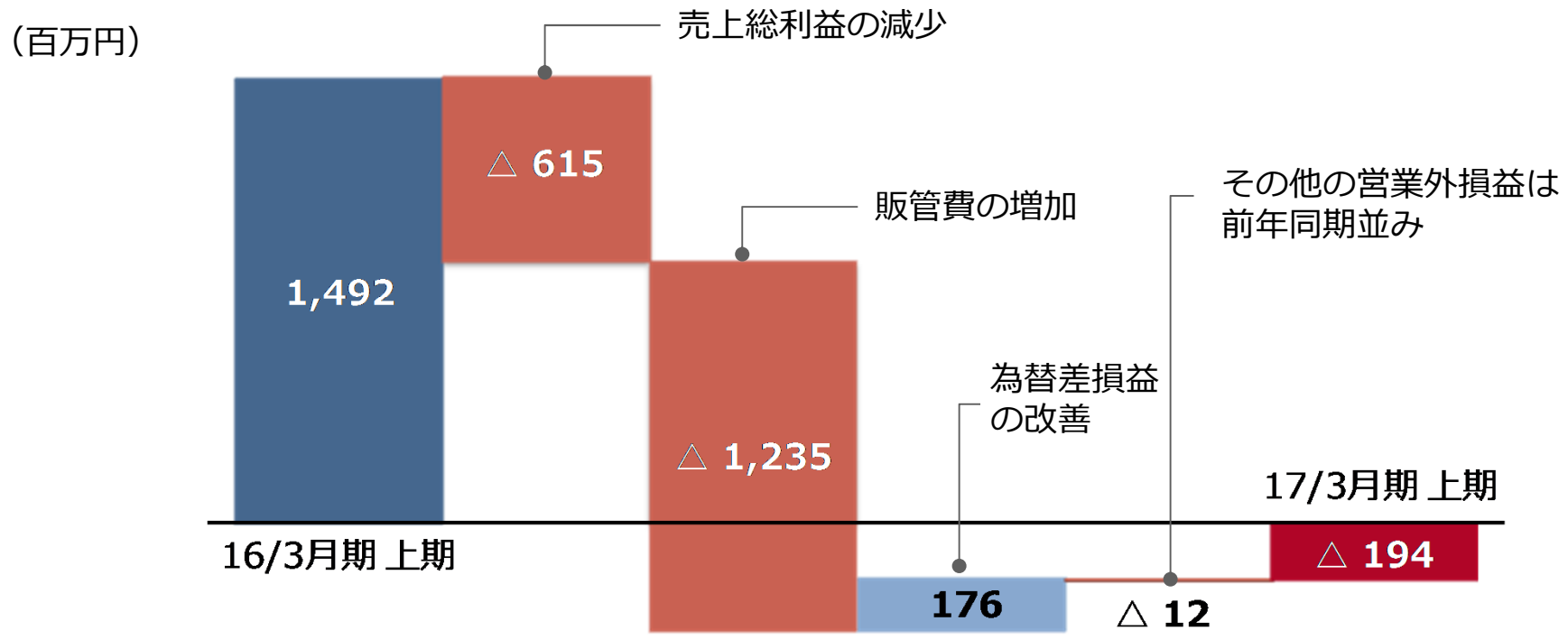


2017年3月期 上期 システム事業品目別売上高



© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 上期 経常利益の増減要因



売上総利益	**売上の減少に加え、円高による円貨換算額の減少、 ドル建取引の仕入・売上計上時の為替レート差による減少** 16/3月期 上期：89億円（6.1%） → 17/3月期 上期：83億円（6.5%）
販管費	**子会社の増加、退職給付費用の増加** 16/3月期 上期：75億円 → 17/3月期 上期：87億円
営業外損益	**為替差損益の改善** 16/3月期 上期：差損5千万円 → 17/3月期 上期：差益1.2億円

© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期　上期 貸借対照表の概要

(百万円)	16/3月期末 実績	17/3月期 上期末 実績	前期末比 増減額	主な増減理由	
資産合計	**106,513**	**109,385**	**2,872**	現金及び預金	△ 3,130
流動資産	96,211	98,418	2,207	受取手形及び売掛金	7,171
固定資産	10,302	10,966	664	商品および製品	△ 1,171
負債合計	**60,175**	**65,788**	**5,613**	支払手形及び買掛金	△ 6,520
流動負債	49,481	54,453	4,972	短期借入金	11,136
固定負債	10,693	11,335	642		
				株主資本	△ 850
純資産合計	**46,338**	**43,596**	**△ 2,742**	その他の包括利益累計額	△ 1,135
				非支配株主持分	△ 757

© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 上期 キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)	16/3月期 上期 実績	17/3月期 上期 実績	主な増減理由	
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,332	△ 6,505	税引前当期純利益	△ 212
			売上債権の増加	△ 3,385
			たな卸資産の減少	3,510
			仕入債務の減少	△ 6,398
投資活動による キャッシュ・フロー	560	△ 607	子会社株式取得	△ 286
フリー・キャッシュ・フロー	△ 772	△ 7,112		
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 6,744	5,143	短期借入金の純増	5,759
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,438	△ 3,072		
現金及び現金同等物の期末残高	14,074	10,629		

© 2016 MARUBUN CORPORATION

中期経営計画
事業戦略と重点施策

© 2016 MARUBUN CORPORATION

新中期経営計画

持続的な成長が図れる
筋肉質な企業の実現

業界再編の主導	積極投資による 新事業の創造	資本効率の向上

デバイス事業

① ベースビジネスの強化

② 新規商材の早期事業化

③ 成長市場での対応強化

④ グローバル展開の加速

システム事業

① エンジニアリングサービス拡充

② システムインテグレーション強化

③ 商品ラインナップ増強

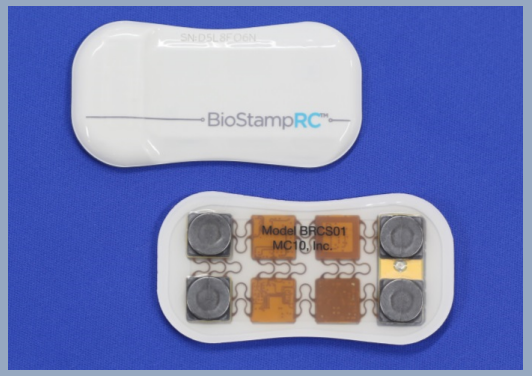
© 2016 MARUBUN CORPORATION

新規商材の早期事業化

FINsix社
超小型ACアダプター

- 民生機器メーカーや
  PC、OA機器メーカーでの
  案件が進行中

mc10社
バイオスタンプ



- 薬機法のライセンス取得を申請中
- 医療以外のプロジェクトが進行中
  - 見守りサービス
  - フィットネス向け

最新テクノロジーによるユニークな商材の発掘に注力し、
お客様にプレマーケティング活動を展開中
下期にも続々と新製品の取り扱いを開始予定

© 2016 MARUBUN CORPORATION

成長市場での対応強化

自動車・産業機器・医療・IoT分野に注力

ケィティーエルの子会社化

- 自動車や産業機器分野の顧客基盤の大幅強化

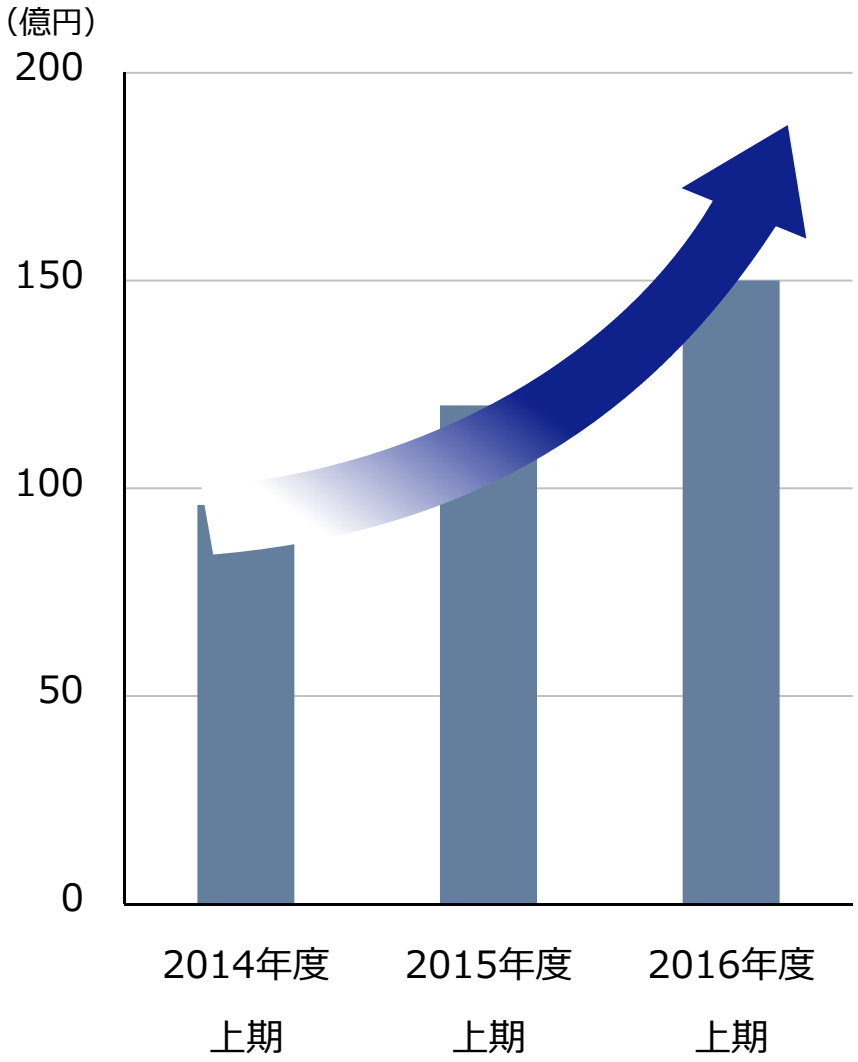
グローバル規模でのシェアアップ

- ASEAN・北米市場で自動車向けの大幅伸長

IoT分野

オリジナルのセンサー評価プラットフォーム

自動車分野向け売上高の推移



© 2016 MARUBUN CORPORATION

ベースビジネスの強化

カンパニー制の導入

丸文株式会社

- GAIA COMPANY
- ARTEMIS COMPANY
- CHRONOS COMPANY
- DIONE COMPANY
- PROMETHEUS COMPANY

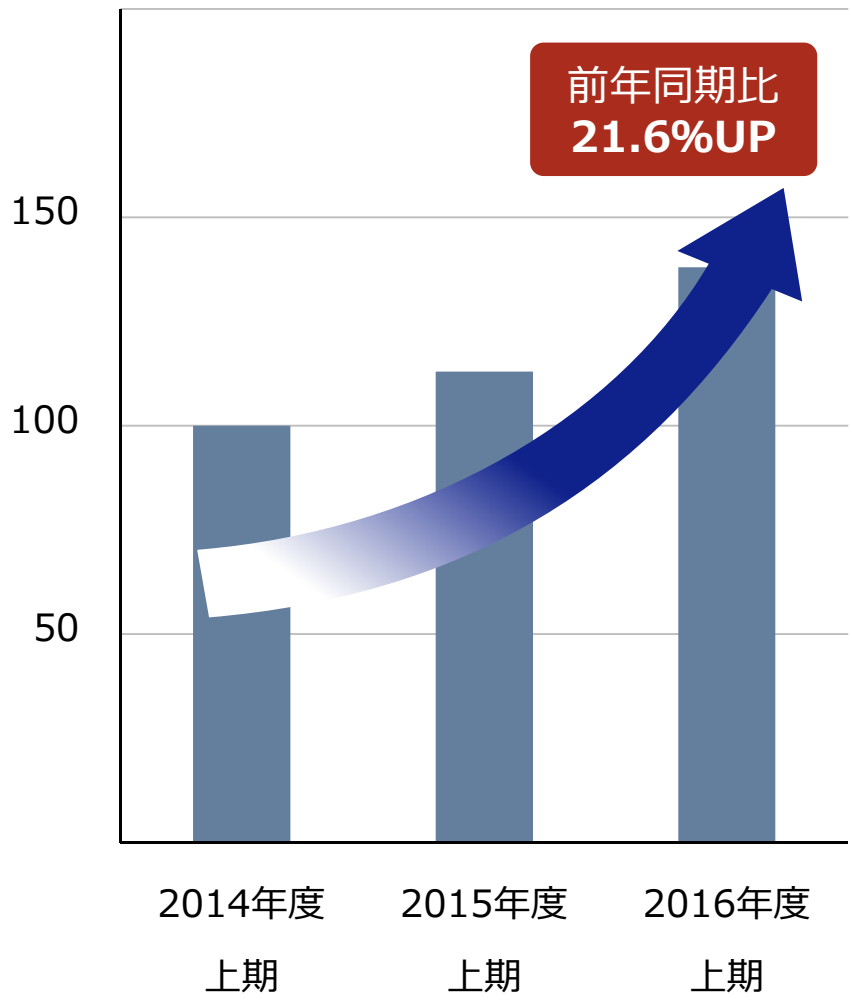
顧客ニーズの深耕

サプライヤーの開発

NXPセミコンダクターズ社
(旧フリースケールセミコンダクター社)
との販売代理店契約の解除

新規ビジネスの早期立上げ
サプライヤーの開発

新規案件発掘数の伸び
（2014年度上期を100とした推移）



© 2016 MARUBUN CORPORATION

システム事業 製品分野の取組み

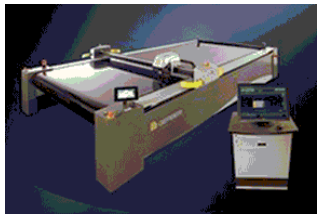
情報通信機器

■ 東京オリンピックに向け通信インフラ商材を拡充
- GPSシミュレータ世界最大手Spirent社と契約
- 基地局や金融向けにGPSシミュレータ、タイムサーバなどをシステム化して一括提案

Spirent社
GPSシミュレータ

産業機器

■ Gerber Technology社の裁断機の販売を開始
- 伊藤忠テクノソリューションズからビジネス移管
- アパレル、航空機、産業素材向けに販売
- エンジニアリング子会社で保守サービス提供



Gerbrer Technology社
次世代自動裁断機

レーザ機器

■ 産業・医療市場向け半導体レーザ、LED光源に注力
- マーキング装置向け半導体レーザの水平展開
- 医療市場向けLED光源が売上・利益に貢献開始

nLignt社
半導体レーザ

© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期　連結業績予想の概要

© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 業績予想サマリ

売上高： 2,700億円（前期比△95億円）

- デバイス事業　通信モジュール向け半導体、TV向けLCDパネルの減少等
- システム事業　電子部品組立検査装置、医用機器向けLED光源の増加

営業利益：　19億円（前期比△13億円）

- 売上総利益　ケィティーエル子会社化による増加
- 販管費　子会社増加、退職給付費用の負担増による増加

経常利益：　20億円（前期比△13億円）

当期純利益：　9億円（前期比△9億円）

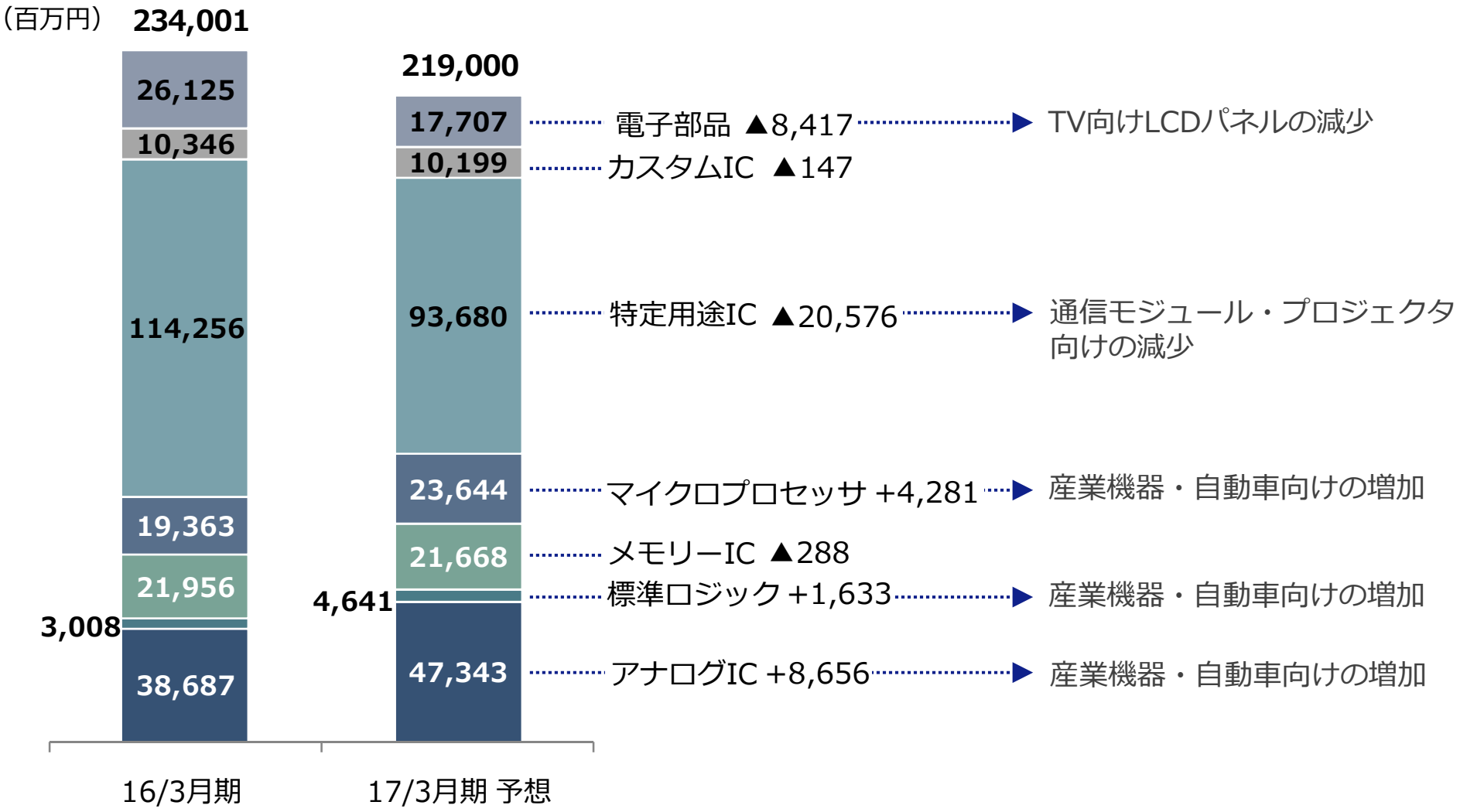
© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期　業績予想サマリ

(百万円)	16/3月期		17/3月期		前期比		17/3月期 期初予想	
	実績	構成比	修正予想	構成比	増減額	%	期初予想	構成比
売上高	**279,571**	**100.0%**	**270,000**	**100.0%**	**△ 9,571**	**-3.4%**	**290,000**	**100.0%**
デバイス事業	234,001	83.7%	219,000	81.1%	△ 15,001	-6.4%	240,000	82.8%
システム事業	45,570	16.3%	51,000	18.9%	5,430	11.9%	50,000	17.2%
売上総利益	**18,319**	**6.6%**	**20,000**	**7.4%**	**1,681**	**9.2%**	**21,800**	**7.5%**
販管費	15,106	5.4%	18,100	6.7%	2,994	19.8%	18,550	6.4%
営業利益	**3,212**	**1.1%**	**1,900**	**0.7%**	**△ 1,312**	**-40.8%**	**3,250**	**1.1%**
営業外収益	734	0.3%	850	0.3%	116	15.8%	600	0.2%
営業外費用	624	0.2%	750	0.3%	126	20.2%	600	0.2%
経常利益	**3,321**	**1.2%**	**2,000**	**0.7%**	**△ 1,321**	**-39.8%**	**3,250**	**1.1%**
特別利益	870	0.3%	10	0.0%	△ 860	-98.9%	0	0.0%
特別損失	893	0.3%	60	0.0%	△ 833	-93.3%	0	0.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,810**	**0.6%**	**900**	**0.3%**	**△ 910**	**-50.3%**	**1,750**	**0.6%**

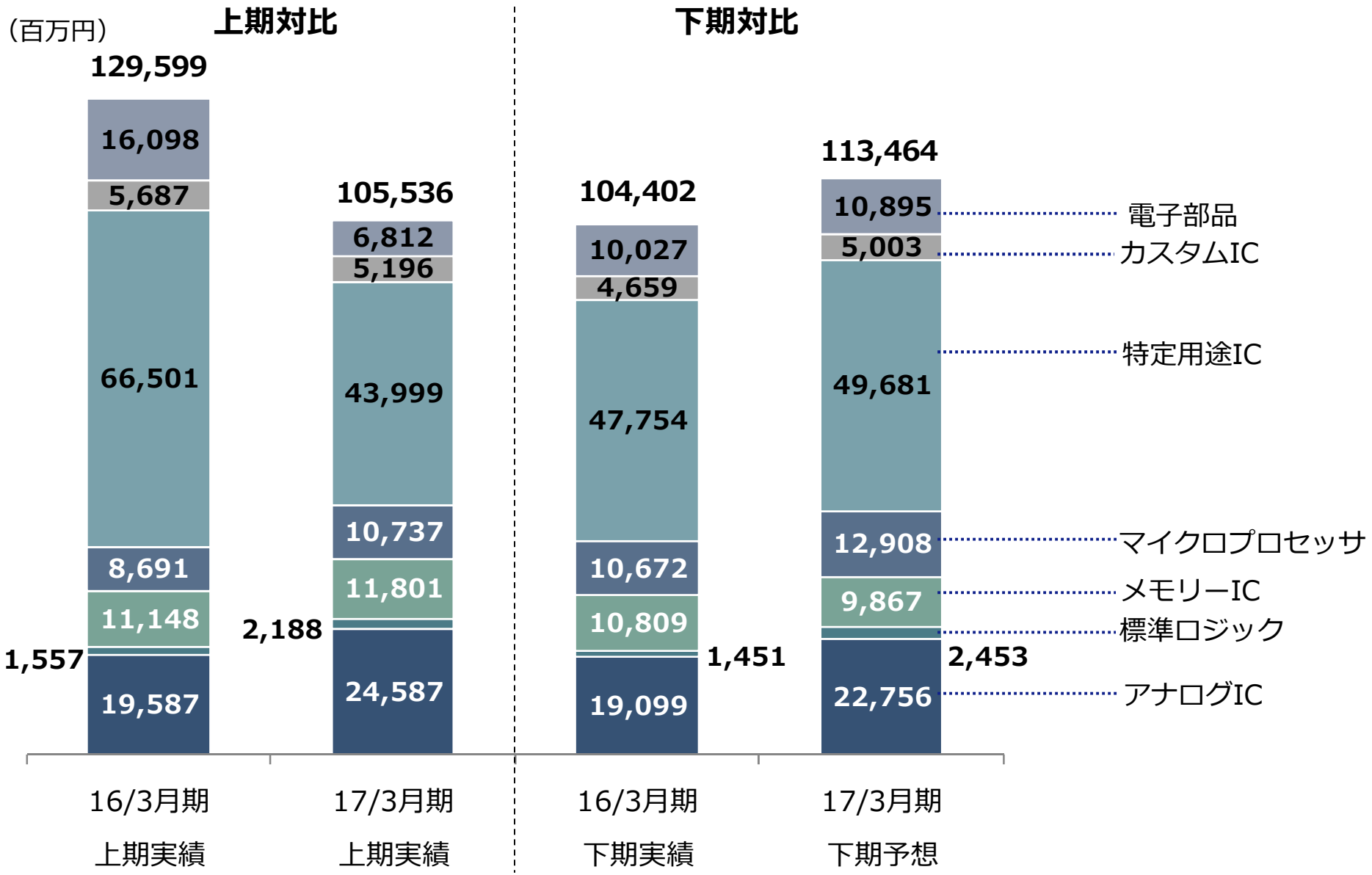
© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 デバイス事業品目別売上高予想



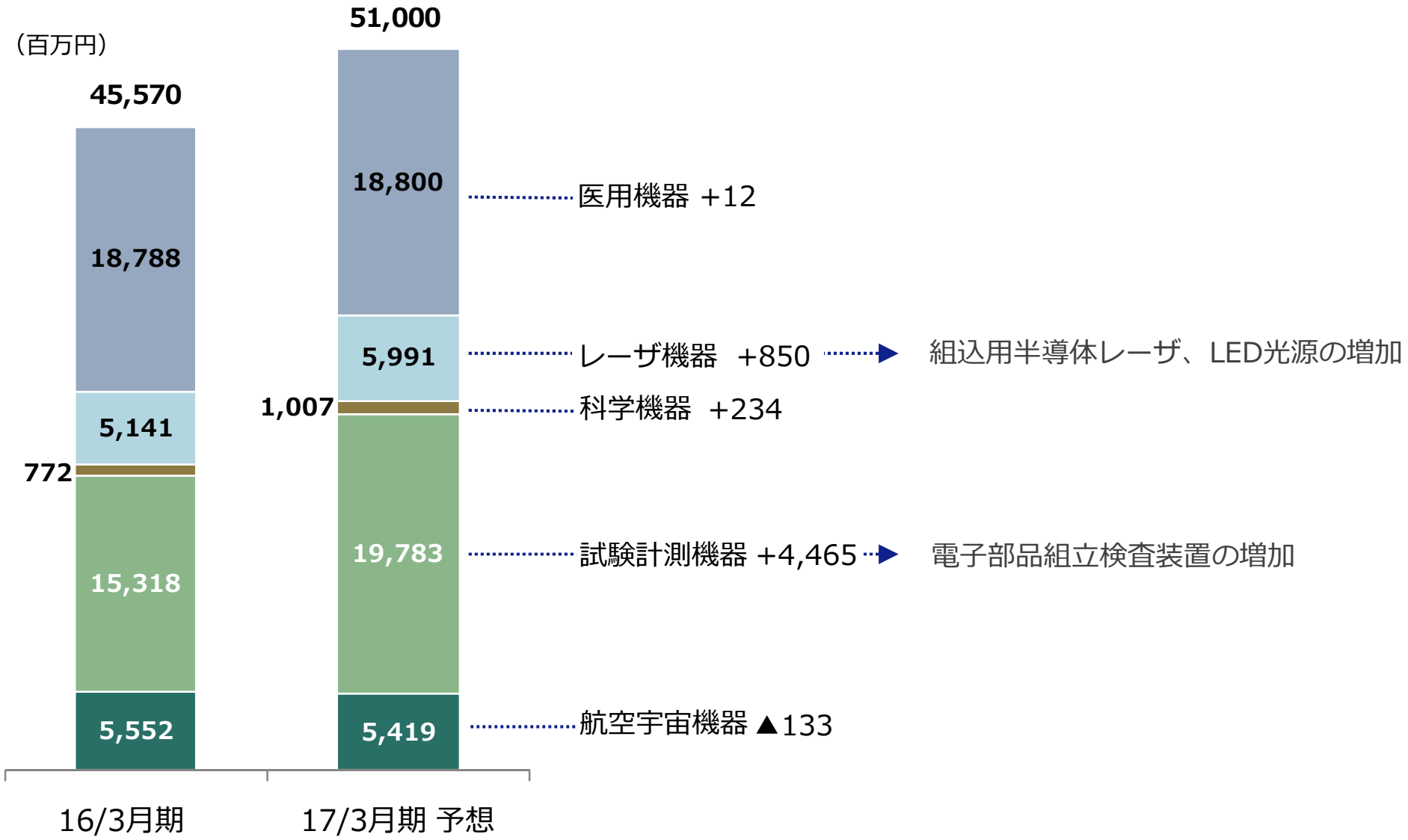
© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 デバイス事業品目別売上高予想（半期対比）



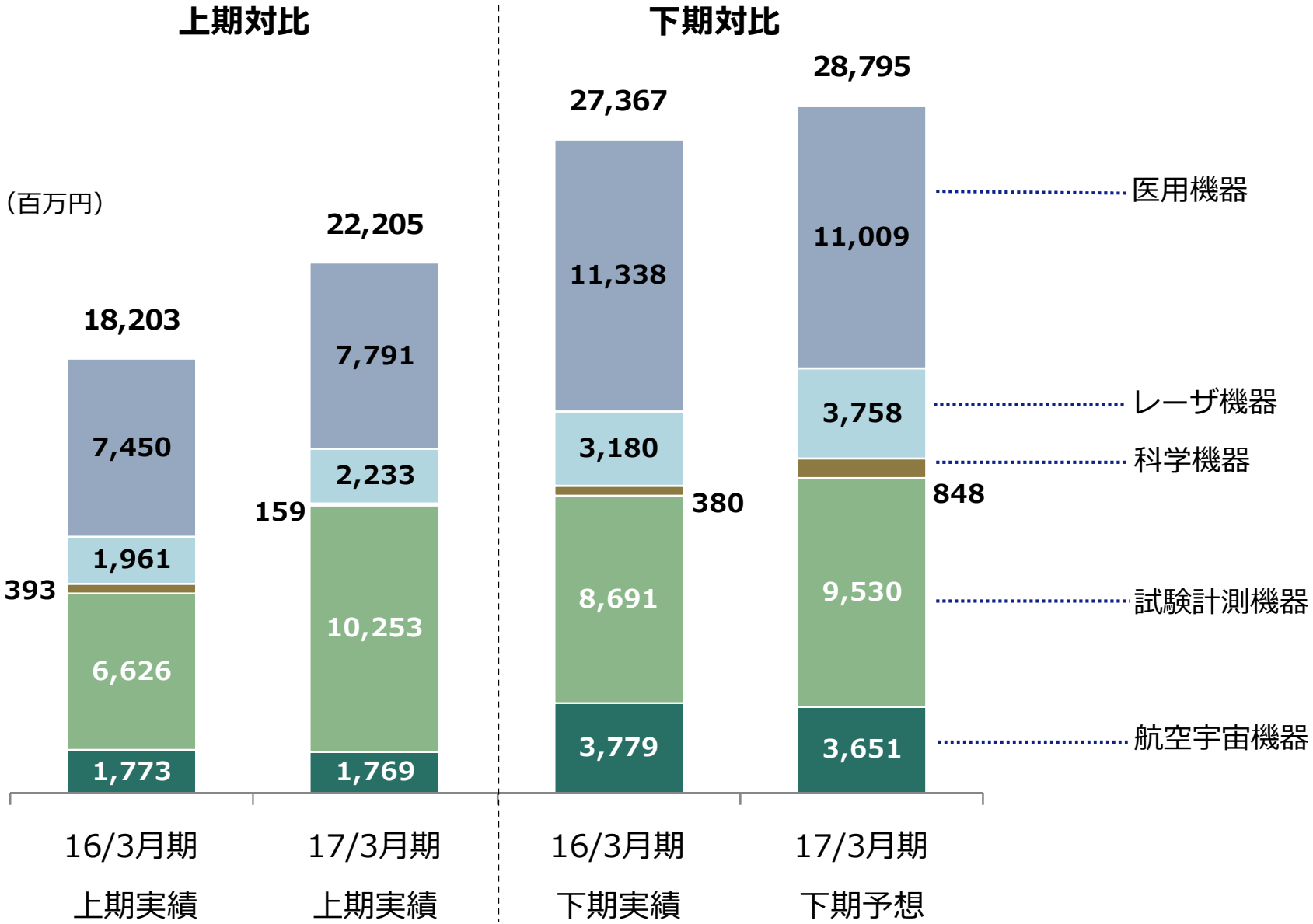
© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 システム事業品目別売上高予想



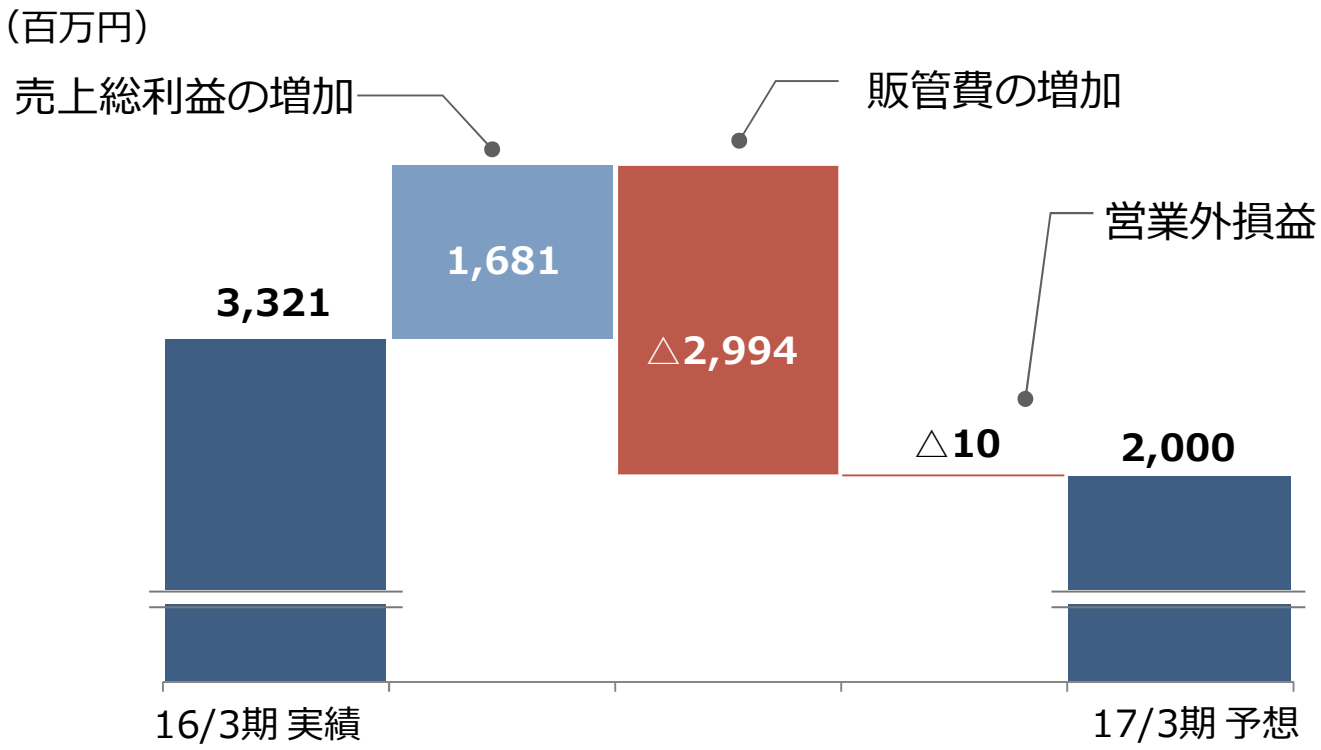
© 2016 MARUBUN CORPORATION

2017年3月期 システム事業品目別売上高予想（半期対比）



© 2016 MARUBUN CORPORATION

経常利益の増減要因（前期 vs. 予想）



売上総利益	**システム事業の売上増、子会社増加による寄与** 16/3月期：183億円(6.6%) → 17/3月期予想：200億円(7.4%)
販管費	**子会社の増加、退職給付費用の増加** 16/3月期：151億円 → 17/3月期予想：181億円
営業外損益	**前期並み**

© 2016 MARUBUN CORPORATION

株主還元

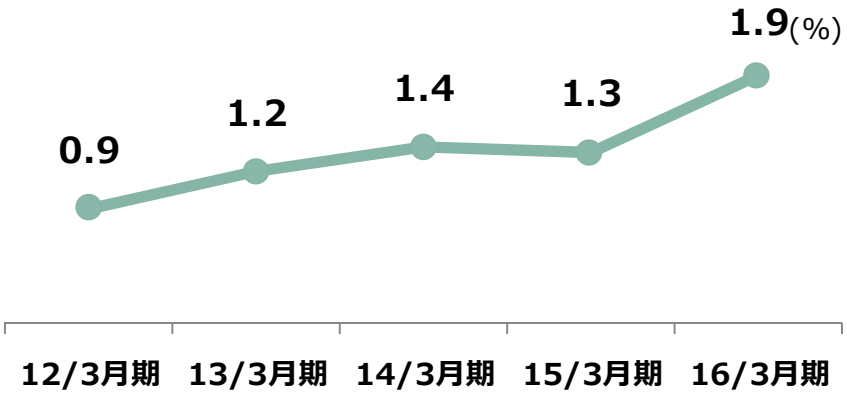
© 2016 MARUBUN CORPORATION

株主還元

配当方針

配当性向	連結 30% 以上

■ DOE(株主資本配当率)の推移



配当予想

(円)	15/3月期	16/3月期	17/3月期(予想)
1株当たり年間配当金	**20.00**	**30.00**	**25.00**
中間配当	**7.00**	**12.00**	**10.00**
期末配当	**13.00**	**18.00**	**15.00**

© 2016 MARUBUN CORPORATION

参考情報

© 2016 MARUBUN CORPORATION

企業概況

会社概要

創　　業	1844年（弘化元年）
設　　立	1947年（昭和22年）7月
所 在 地	東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号
資 本 金	62億1,450万円
決算期日	3月31日
代 表 者	代表取締役社長　水野象司
売 上 高	連結　2,795億円（2016年3月期） 単体　1,777億円（2016年3月期）
従業員数	連結　1,266名（2016年3月末） 単体　　678名（2016年3月末）
株式上場	東京証券取引所　市場第一部（コード:7537）

事業領域

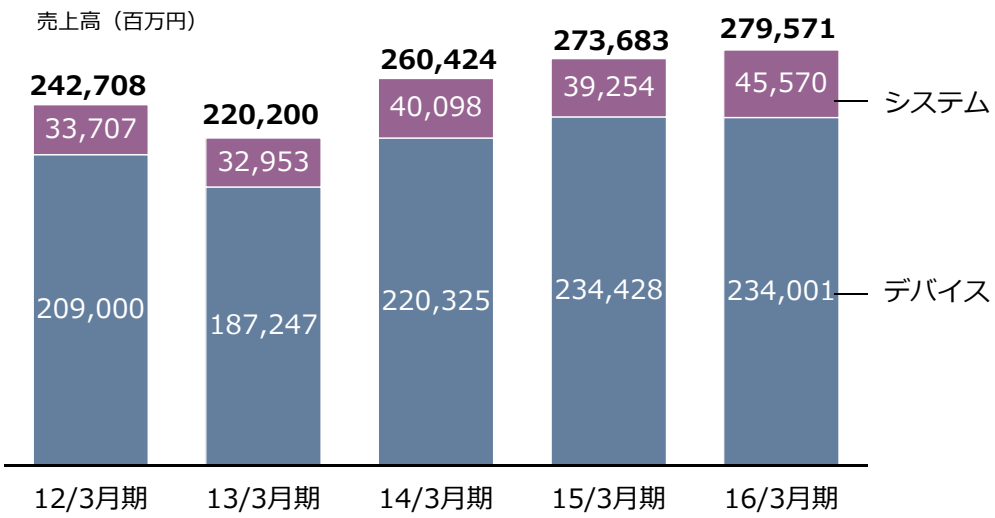
デバイス事業

- 半導体
- 電子部品

システム事業

- 航空宇宙機器
- 試験計測機器
- 科学機器
- レーザ機器
- 医用機器

連結売上高の推移



© 2016 MARUBUN CORPORATION

沿　革

国　内

2016
ケィティーエルを子会社化

2015
池田医療電機を子会社化

2013
北信理化を子会社化

2007
フォーサイトテクノを子会社化

2005
丸文セミコンを子会社化、丸文ウエストを設立

2001
東京証券取引所市場第一部上場

1997
東京証券取引所市場第二部上場

1985
物流機能強化のため、物流センターを設置

1965
Texas Instruments社製集積回路を国内で初めて輸入販売

1961
金沢支店を分社し、丸文通商を設立

1952
Rocke International社と代理店契約し、独自での米国製機器の輸入販売を開始

1947
機械器具、日用雑貨類の販売と輸出入を目的に丸文株式会社を設立

1897
呉服問屋を停止し、資産管理を目的に堀越事務所を設立

1844
現本社所在地で呉服問屋「堀越」（屋号「丸文」）を創業

海　外

2014
インドネシア、メキシコに現地法人を設立

2013
深せんに現地法人を設立

2006
マレーシアに現地法人を設立

2002
フィリピン、上海に現地法人を設立

2001
タイに現地法人を設立

1999
米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow USA,LLCを設立

1998
米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow Asia,Ltd.を設立

1994
香港に現地法人を設立

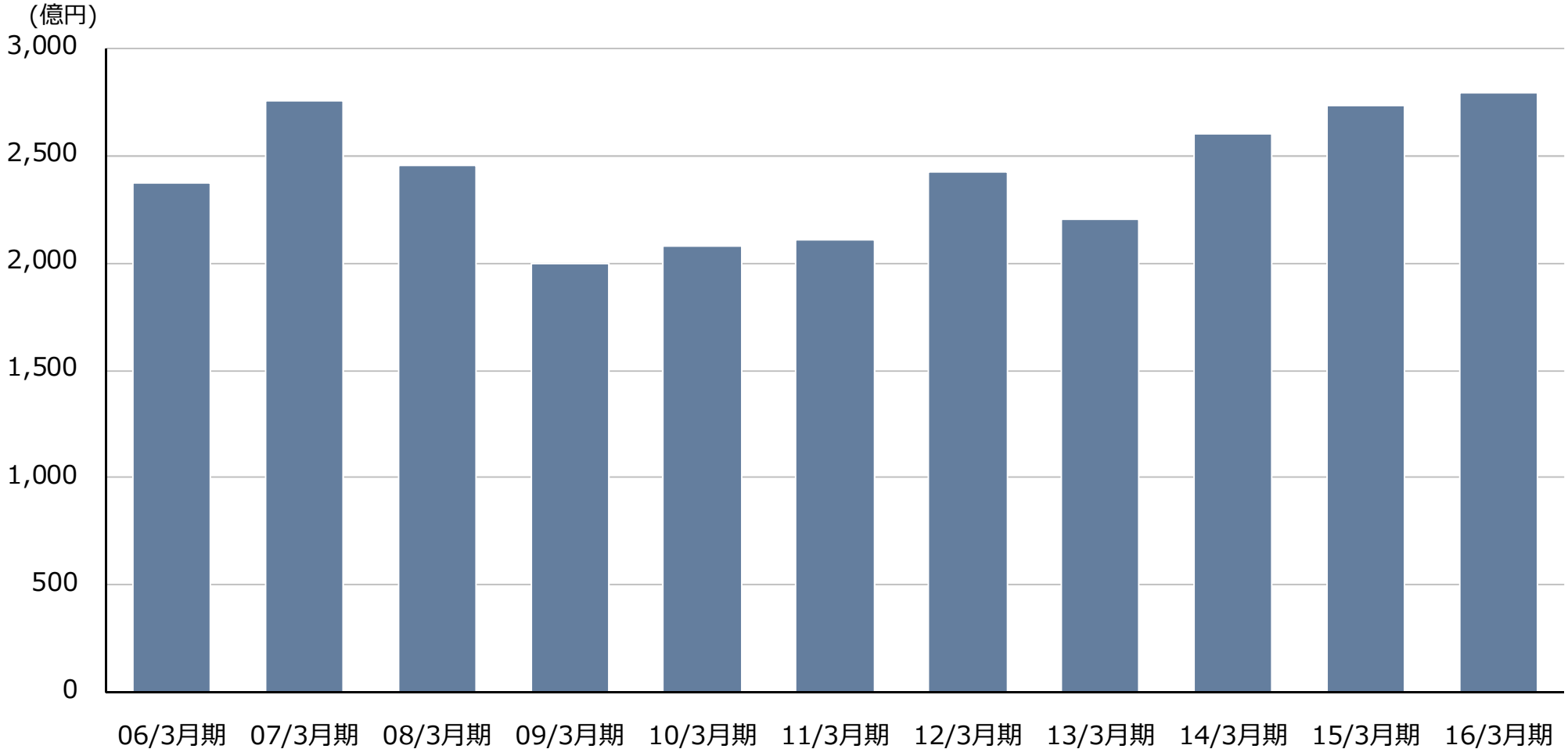
1989
台湾に現地法人を設立

1988
シンガポールに現地法人を設立

1968
米国駐在事務所を設置

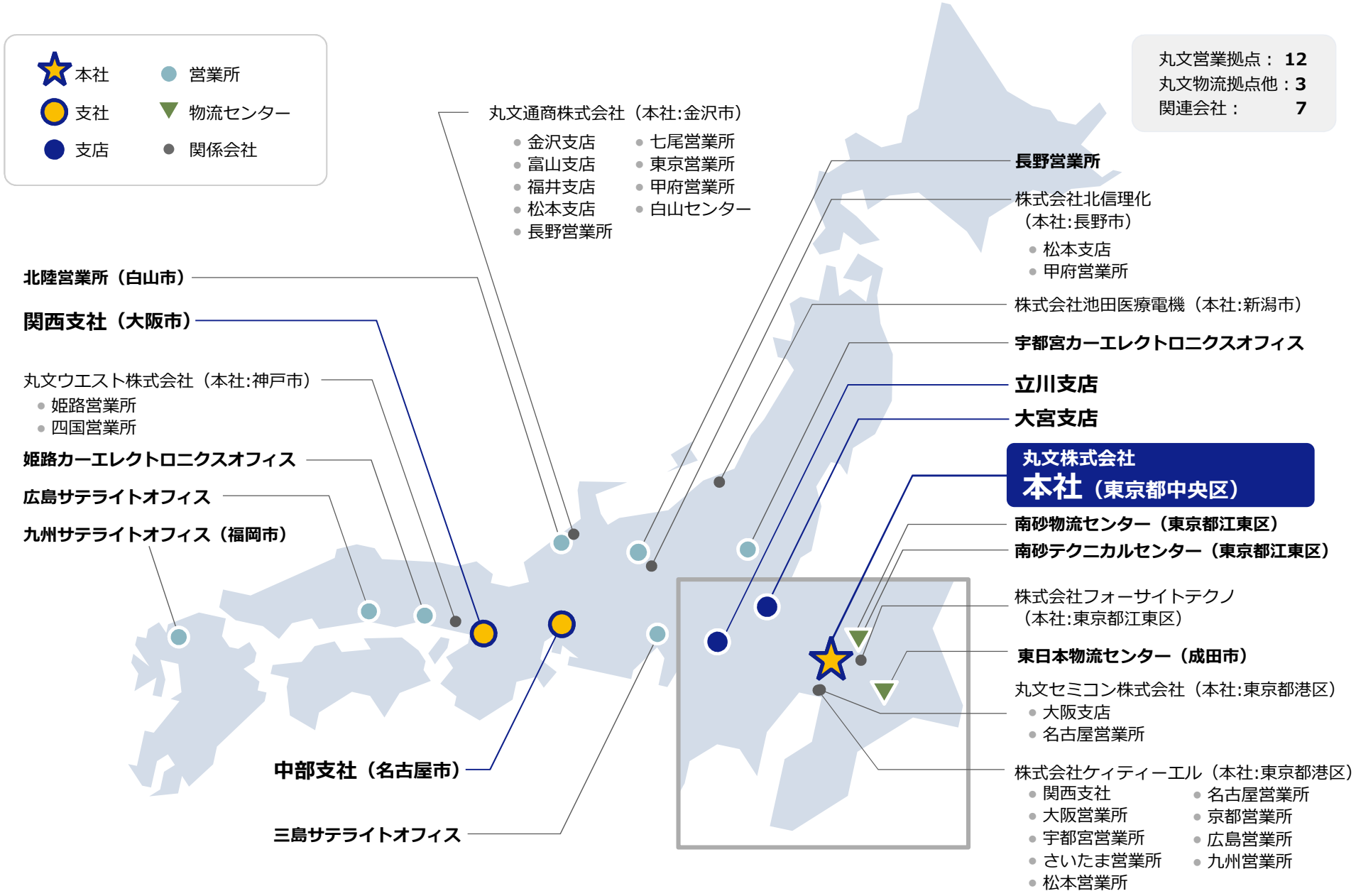
© 2016 MARUBUN CORPORATION

中長期売上トレンド



© 2016 MARUBUN CORPORATION

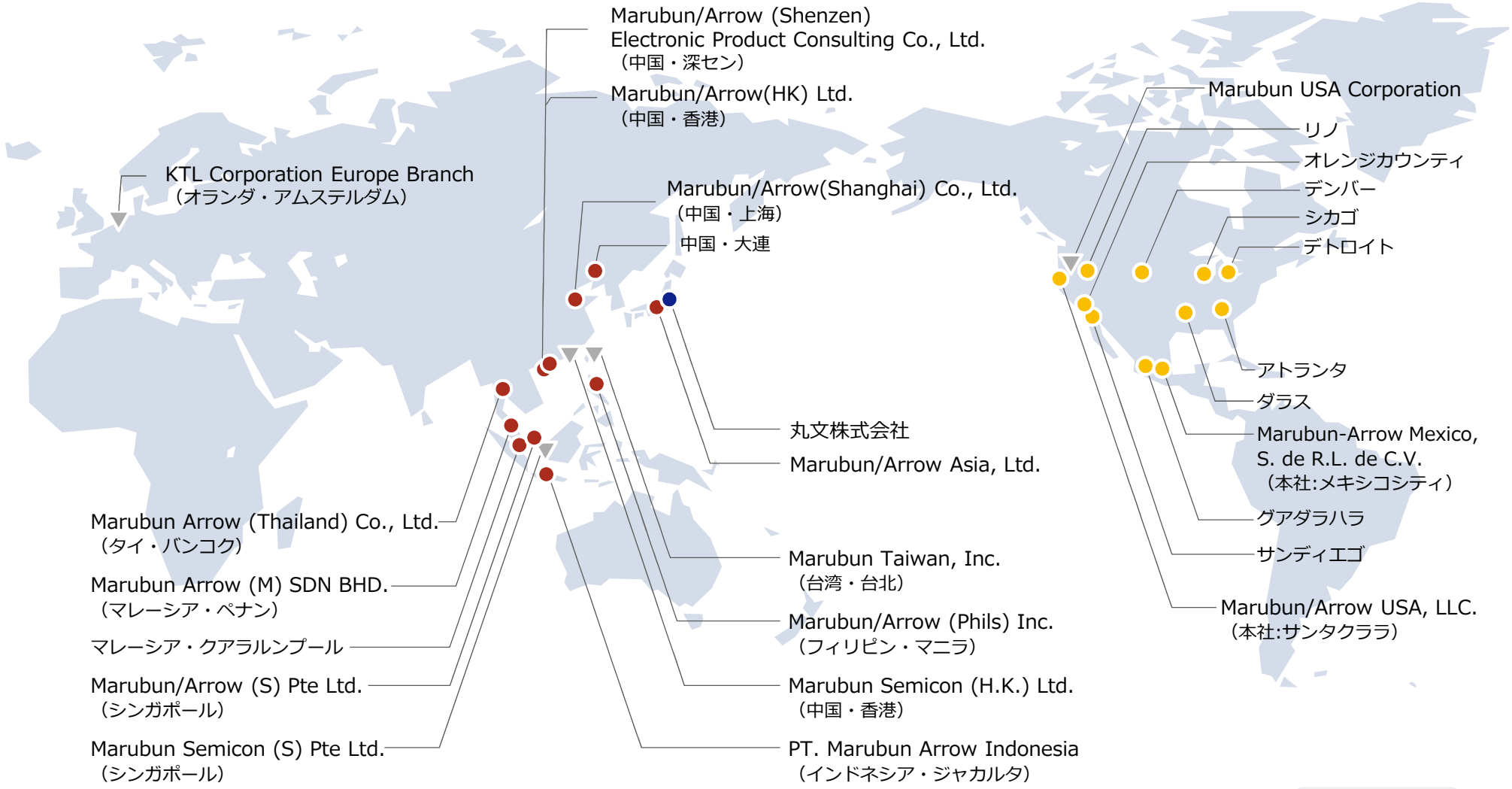
国内拠点



（2016年9月末現在）

© 2016 MARUBUN CORPORATION

グローバルネットワーク



● 丸文株式会社　● Marubun/Arrow Asia, Ltd.　● Marubun/Arrow USA, LLC.　▼ その他

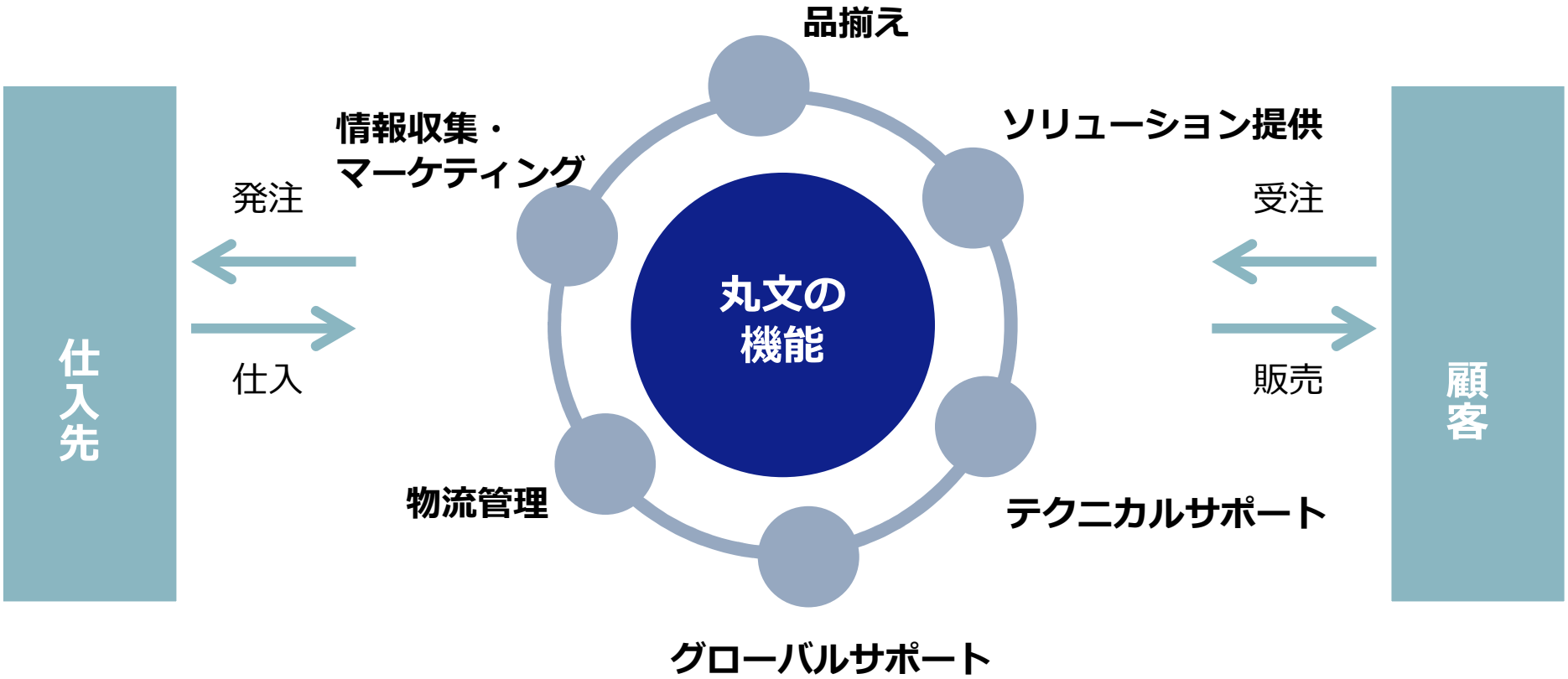
アジア拠点：**14**
北米拠点：　**12**
欧州拠点：　**1**

（2016年9月末現在）

© 2016 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業：特徴と強み

- 海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- 米国アロー社(85ヶ国、460拠点)との提携によるグローバルネットワーク
- 高度な技術力をもとにしたソリューション提案力
- 強固な顧客基盤



© 2016 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業：グループ会社概要

社 名	住 所	設立年月	出費比率	事 業 内 容
丸文セミコン株式会社	東京都港区	2005年3月	100.0%	サムスン電子製半導体・電子部品の仕入販売
Marubun Semicon (H.K.) Ltd.	Hong Kong, China	2010年1月	100.0%	
Marubun Semicon (S) Pte. Ltd.	Alexandra Road, Singapore	2013年11月	100.0%	
Marubun USA Corporation	California, U.S.A.	1983年10月	100.0%	丸文アローUSAの持株会社
Marubun Taiwan, Inc.	Taipei, Taiwan	1989年11月	100.0%	台湾製デバイスの仕入販売
Marubun/Arrow Asia, Ltd.	British Virgin Islands	1998年10月	50.0%	丸文アローシンガポール、丸文アロー香港の持株会社
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.	Anson Road, Singapore	1988年3月	50.0%	海外進出した日系企業への半導体・電子部品の仕入販売
Marubun/Arrow (HK) Ltd.	Hong Kong, China	1994年8月	50.0%	
Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.	Bangkok, Thailand	2000年10月	50.0%	
Marubun/Arrow (Phils), Inc.	Laguna, Philippines	2001年10月	50.0%	
Marubun Arrow (M) SDN BHD	Penang, Malaysia	2006年6月	50.0%	
Marubun/Arrow (Shanghai) Co., Ltd.	Shanghai, China	2002年9月	50.0%	
Marubun/Arrow (Shenzhen) Electronic Product Consulting Co.,Ltd.	Shenzhen, China	2013年6月	50.0%	
PT. Marubun Arrow Indonesia	Jakarta, Indonesia	2014年4月	50.0%	
Marubun/Arrow USA, LLC*	Delaware, U.S.A.	1998年11月	50.0%	
Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*	MexicoCity, MEXICO	2014年9月	50.0%	
株式会社ケィティーエル	東京都港区	1966年11月	100.0%	半導体・電子部品の仕入販売

＊ Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexicoは持分法適用関連会社とその子会社です。

© 2016 MARUBUN CORPORATION

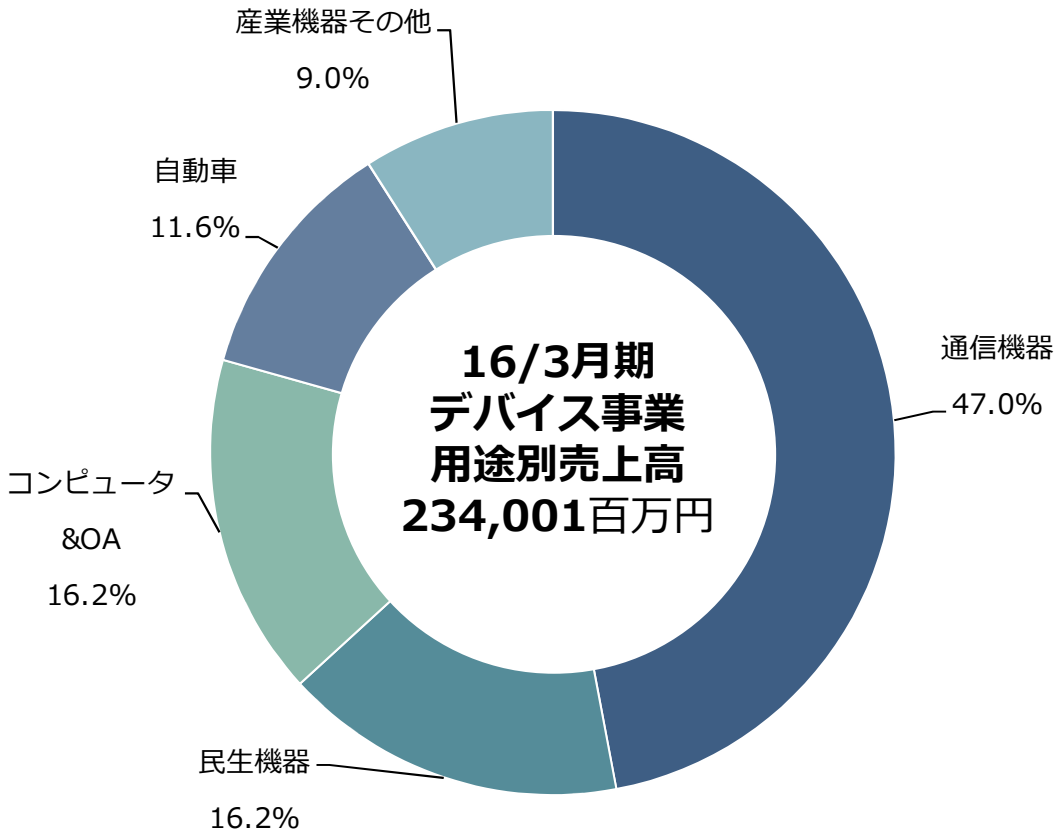
デバイス事業：取扱製品（サプライヤ別）

			サプライヤ　（アルファベット順）														
			旭化成エレクトロニクス	Baysand（米国）	Broadcom（米国）	Eink（台湾）	FINsix（米国）	IDT（米国）	Maxim（米国）	Molex（米国）	Open Silicon（米国）	Qorvo（米国）	Samsung（韓国）	SanDisk（米国）	セイコーエプソン	TexasInstruments（米国）	Unimicron（台湾）
半導体	アナログIC		●		●				●			●				●	
半導体	標準ロジックIC															●	
半導体	メモリーIC	DRAM											●				
半導体	メモリーIC	フラッシュ											●	●			
半導体	メモリーIC	メモリーカード												●			
半導体	マイクロプロセッサ	MPU、MCU													●	●	
半導体	マイクロプロセッサ	DSP	●													●	
半導体	特定用途IC	ASSP	●		●				●			●			●	●	
半導体	特定用途IC	ディスプレイドライバ											●		●	●	
半導体	特定用途IC	DMD														●	
半導体	特定用途IC	LED											●				
半導体	カスタムIC		●	●							●		●		●		
電子部品	表示デバイス					●							●				
電子部品	水晶デバイス							●							●		
電子部品	コネクタ・スイッチ・プリント基板									●							●
電子部品	モジュール製品						●										

© 2016 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業：主要取扱い製品（用途別）

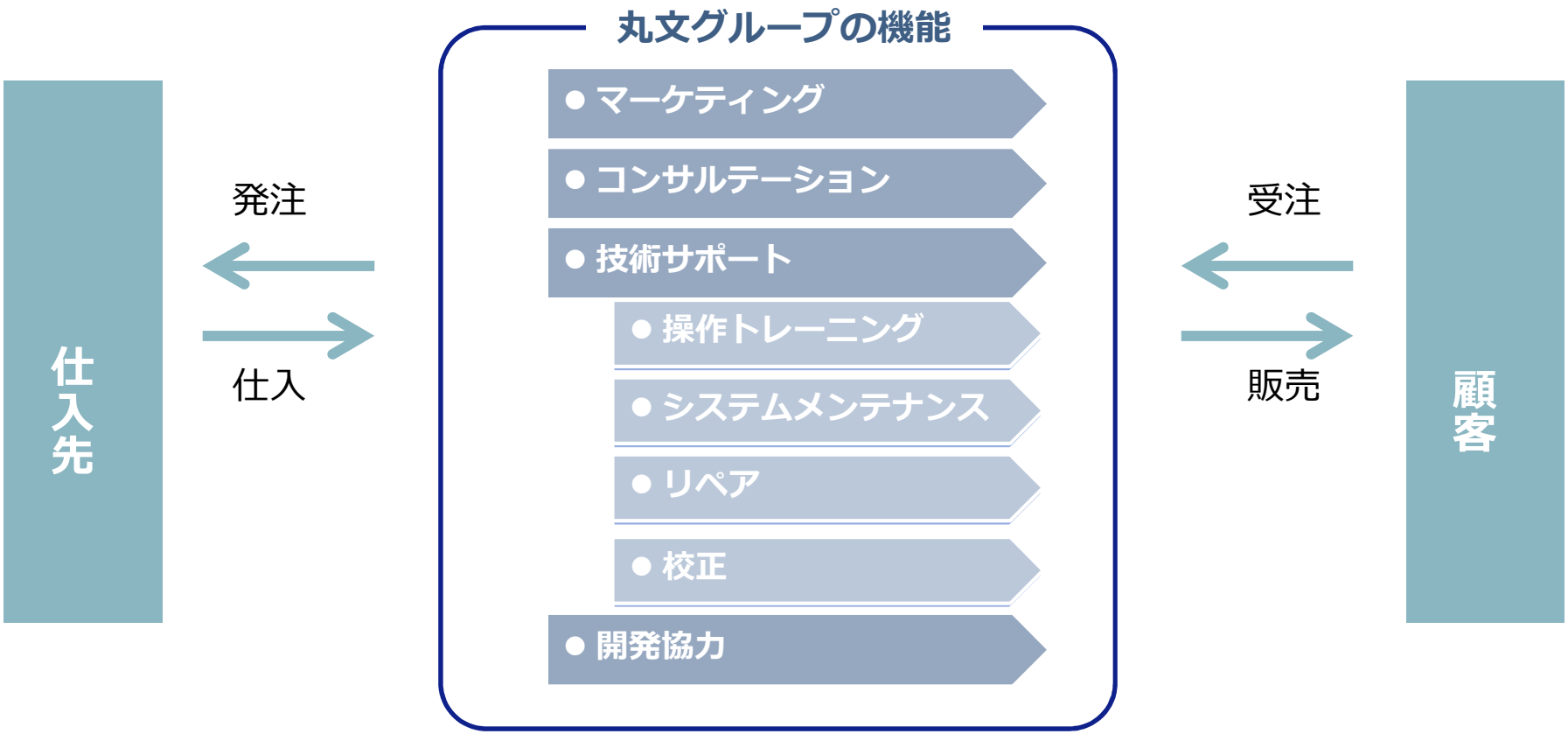
		通信機器	民生機器	コンピュータ & OA	自動車	産業機器
半導体						
アナログIC	アナログ	●	●	●	●	●
	ディスクリート	●	●		●	●
標準ロジックIC		●	●	●	●	●
メモリーIC	DRAM	●	●	●	●	
	フラッシュ	●	●	●		
マイクロプロセッサ	MPU、MCU	●	●	●	●	●
	DSP	●	●		●	●
特定用途IC	ASSP	●	●		●	
	ディスプレイドライバ	●	●	●	●	
	DMD	●	●	●	●	●
	LED	●	●	●		
カスタムIC		●	●	●	●	
電子部品						
表示デバイス		●	●	●	●	●
水晶デバイス		●	●		●	●
コネクタ・スイッチ・プリント基板		●	●			
モジュール製品			●	●	●	



© 2016 MARUBUN CORPORATION

システム事業：特徴と強み

- ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
- システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート



© 2016 MARUBUN CORPORATION

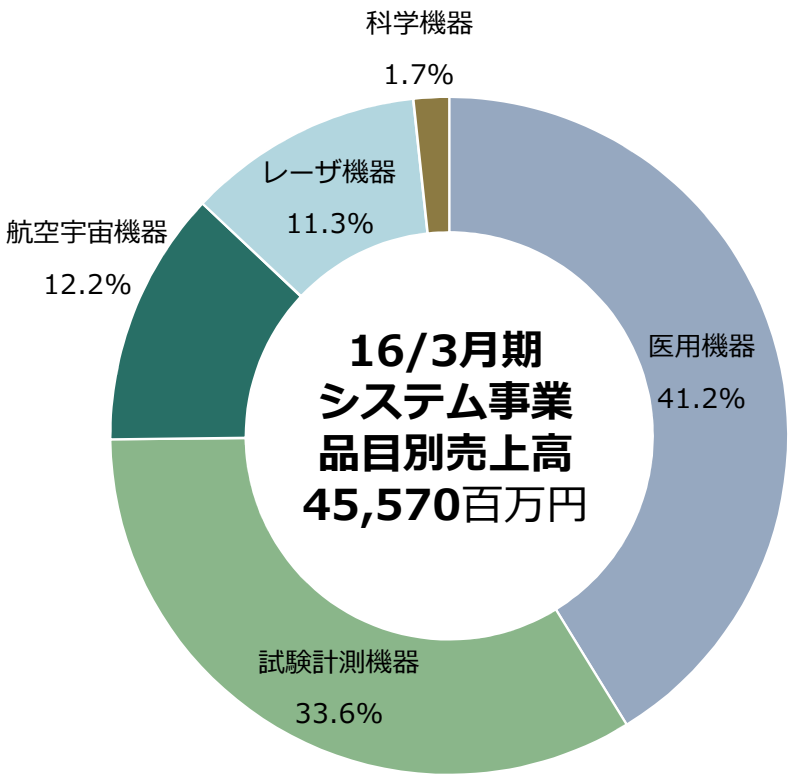
システム事業：グループ会社概要

社　名	本　社	設立年月	出費比率	事　業　内　容
丸文通商株式会社	石川県金沢市	1961年3月	100.0%	医用機器および試験計測機器の仕入販売・修理・メンテナンス
丸文ウエスト株式会社	兵庫県神戸市	2005年5月	100.0%	試験計測機器の仕入販売
株式会社北信理化	長野県長野市	1951年11月	100.0%	試験計測機器の仕入販売
株式会社池田医療電機	新潟県新潟市	1961年8月	100.0%	医用機器などの仕入販売・修理・メンテナンス
株式会社フォーサイトテクノ	東京都江東区	1999年3月	51.0%	システム製品の修理・メンテナンス、エンジニアリングサービス

© 2016 MARUBUN CORPORATION

システム事業：主要取扱い製品①

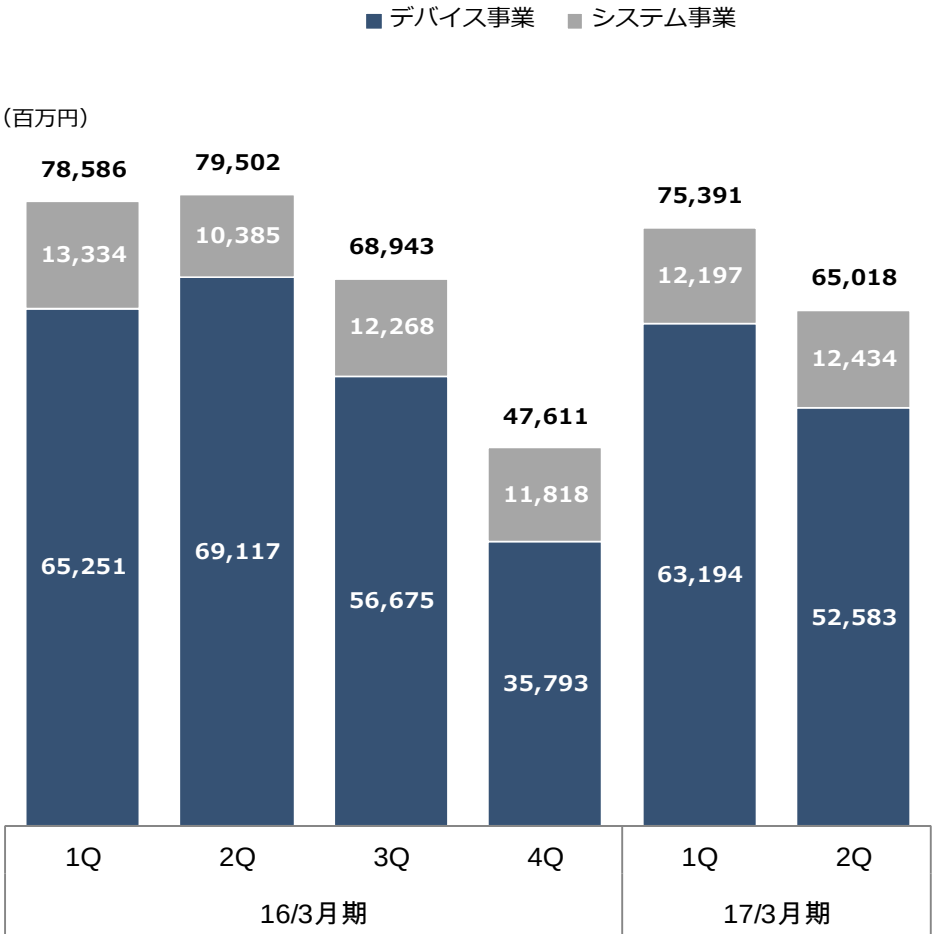
分野	主要取扱商品	主要仕入先
医用機器	画像診断機器	シーメンス、島津製作所、 コニカミノルタヘルスケア
	人工透析機器	日機装、旭化成メディカル、 カネカメディックス
試験計測機器	検査・計測機器 組込みコンピュータ	アキム、島津製作所、 ARTESYN、ADLINK
	製造装置 組立装置	セイコーエプソン、 日本アビオニクス
航空宇宙機器	高信頼性部品 計測・センサ	Tele Communication Systems、 Plascore、Lavision
	航空関連機器 高周波電子機器	CPI、L3 Communications
レーザ機器	半導体レーザ レーザ加工機	nLight、Laserline
	ネットワーク機器 光学部品	Microsemi、Calnex Solutions、 Excelitas Technologies
科学機器	MOCVD装置 MBE装置	AIXTRON、Riber



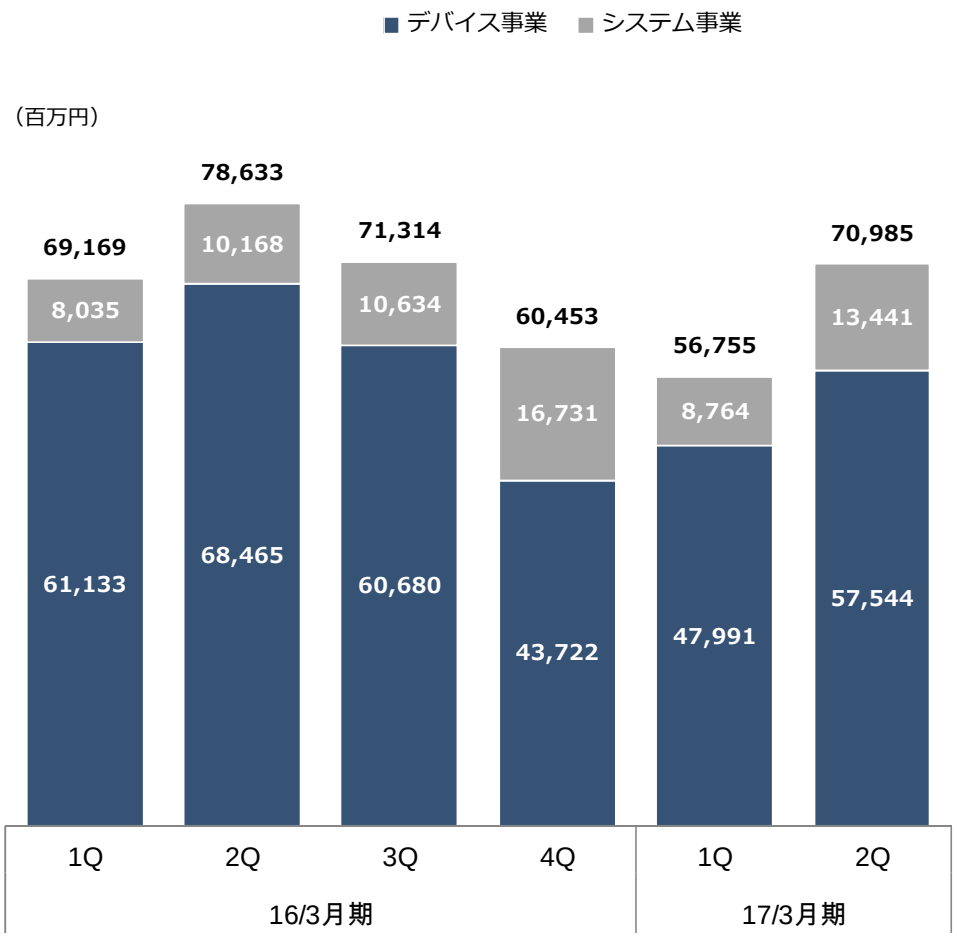
© 2016 MARUBUN CORPORATION

業績四半期推移（事業別受注高・事業別売上高）

事業別受注高

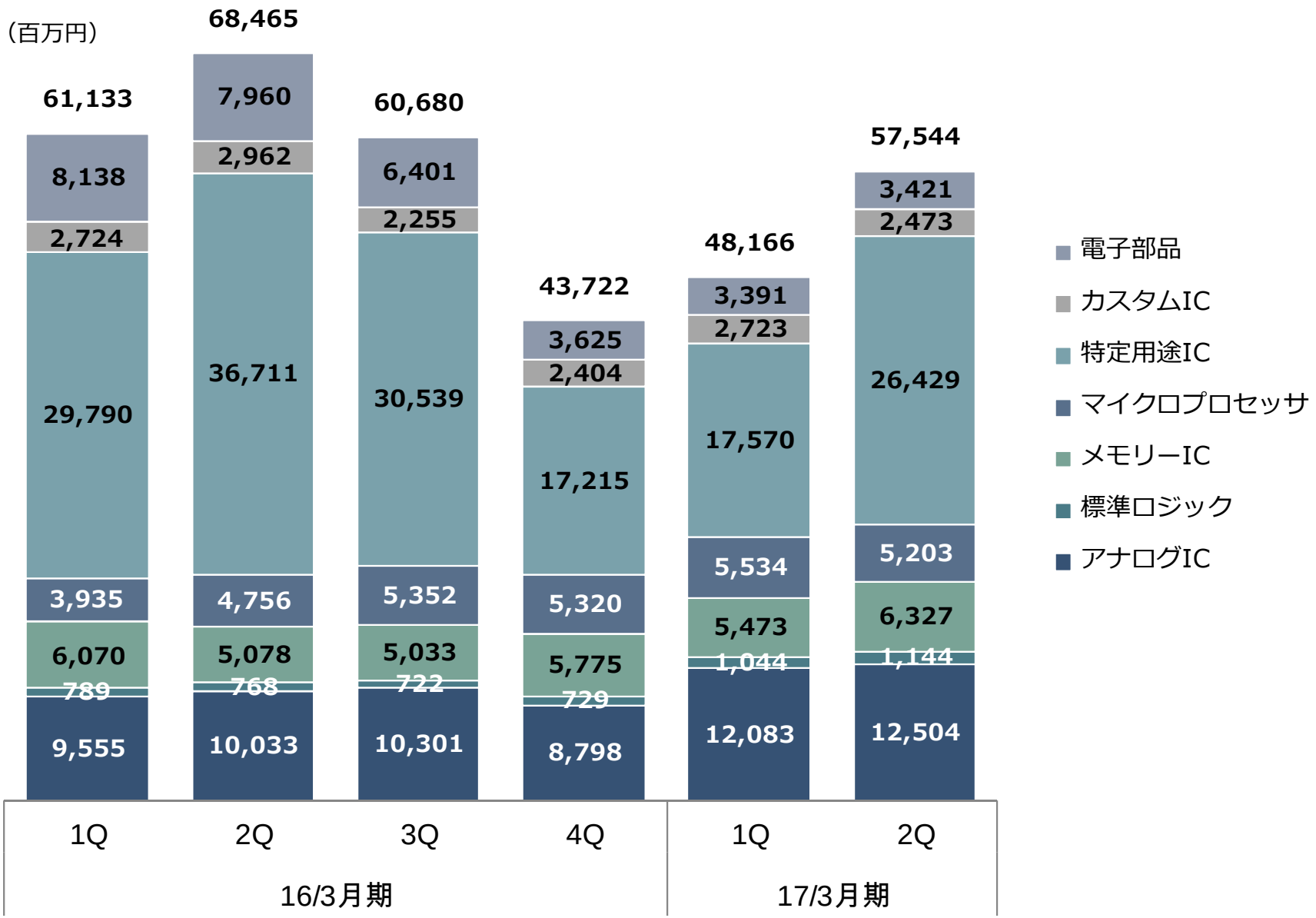


事業別売上高



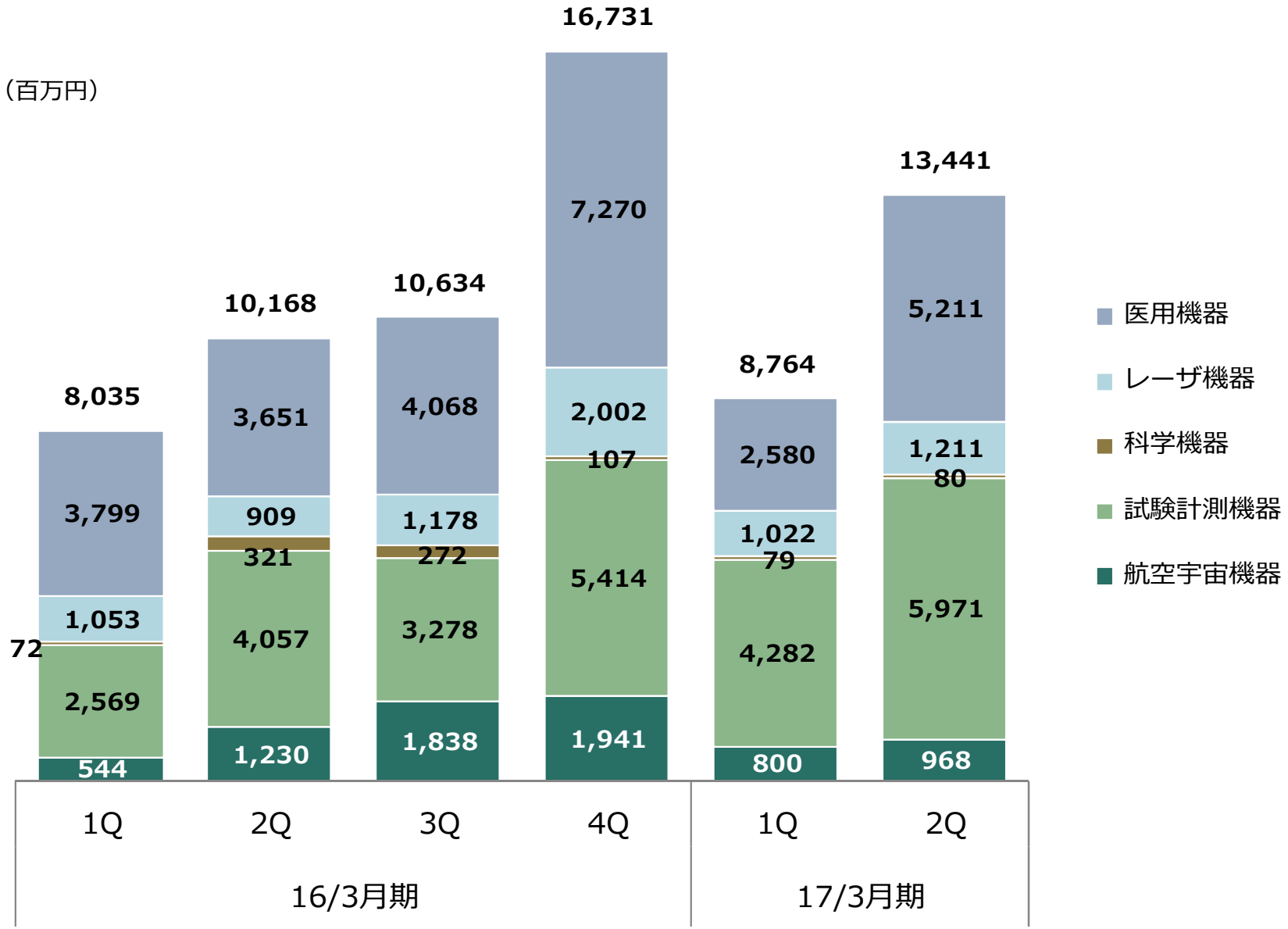
© 2016 MARUBUN CORPORATION

業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）



© 2016 MARUBUN CORPORATION

業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）



© 2016 MARUBUN CORPORATION

本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社　経営企画部

TEL　03-3639-3010

E-mail　ir@marubun.co.jp